

神奈川県内科医学会 第4回心臓血管病対策委員会

日時：平成27年1月21日(水) 20:00～
場所：神奈川県総合医療会館 1階会議室B

出席：國島、三谷、陳、岩澤、中村、高橋、羽鳥(信)、岡部、平松、笹生、木村、佐藤(直)、
鈴木(洋) (敬称略)

書記：堺

- 1 神奈川県内科医会幹事会報告(12月6日および1月15日)
 - 1) 11月26日学術集会報告
横浜ベイシェラトンホテルにて開催、多数の参加者が来られた。
三谷先生より「心房細動 病診連携について」
堺先生より「心房細動抗凝固療法について」
佐藤先生より「レジストリーから学ぶ：急性心不全update」
について講演を行った。
ほぼ満席となり盛会のうちに終了した。
 - 2) 神奈川県内科医学会会員名簿の作成(次回県内科医学会会長選に向けて)
 - 3) 今年度、日本臨床内科医会評議員(8名：1名減)・理事推薦(8名)が、中会長一任となった。
 - 4) 会議参加時の費用弁償で、遠方の先生は個別対応となり、事務局と協議となった。
- 2 事業計画案
 - 1) ASSAF-Kについて
県央・県西部・東海大学・北里大学・聖マリアンナ医科大学に症例登録を依頼してゆく。
合計で、1月20日現在 約 3,500例の登録をいただいた。
登録期間は平成27年3月31日までであり、症例の登録受け付け中である。
不明な点は事務局まで連絡
＞東海大学はIRB通過
＞北里大学はIRB申請中
＞講演会開催日での追加説明の予定(第一三共の講演会に組み入れる：國島予定)
＞地区医会の会合後(第4地区医会后：國島予定)
＞地区医会の会合後(第5地区医会后：堺先生済み)
＞第3地区は岩澤先生から2月中に登録案内を行う予定であること。
また、初回登録済みの先生は、1年目フォローの登録受け付け中である。
 - 2) 紹介すべきAfについて：三谷先生(横浜)
アンケート調査を行い、11月26日に報告。
循環器専門医と非専門医で異なる。

非専門医は75歳以上の高齢者は病院で治療方針を決定することを希望
専門医は約半数が病院での方針決定を希望
専門医は積極的な逆紹介を希望
非専門医はレベルにあった逆紹介を希望
受け入れ病院やクリニック毎に意見の相違があり、意見をまとめることは困難？
>今後の活用方法について

3) PHの検討について：岩澤先生（横須賀）

昨年10月に肺高血圧学会へ参加し、今後神奈川の現状把握のためにアンケートを考えている。

スクリーニングも症状から心エコーへと進むことが多い。心電図の右室肥大は発見率が20%程度のため、発見には有用ではないと考えている。

>今後の活用方法について

4) 紹介すべきASOについて：國島先生（川崎）

アンケート調査を行いたい。

腰痛で通院中にASO発見しても、紹介先や窓口の先生が不明であったり、

ABI機器未購入であったり、四肢血圧測定は煩雑とっていたりする。

整形外科や非専門医（特に多い消化器内科クリニック）での患者発見方法を検討する必要がある。

5) 次回学術集会予定について

⇒ 6月頃に 第2回学術集会を予定している。日程は後日報告したい。

3 神奈川県循環器救急レジストリーについて

昭和大学藤が丘病院 鈴木教授

神奈川全体で、地区ごとに特性があり、治療も含めて差がある

救急のある大学病院を初めとして、救急を受け入れ可能な病院、行政、医師会などの調整が必要である。行政側のメリットを示し、東京都CCUネットワークのように全体の把握が出来る形も含め検討したく、内科医学会も強力して欲しい>了承され幹事会等に話を上げて行く。

4 日本医師会常任理事（羽鳥：前回幹事会にて）

来年度から産業医にストレスチェックが義務化される事。

薬局・ドラッグストアにてインフルエンザ検査が解禁される可能性がある

JSH2014に対するアンケートへの協力要請

5 そのほか

6 CVDCC MLへ加入よびかけ

7 次回予定日（本日事務局不在にて、MLにて報告）

平成27年 3月16日20時からとなりました。（18日は会場確保が出来なかった為）。

